

保護者の皆様へ

令和4年8月10日
豊島区
豊島区教育委員会

「日常の生活実態に関するアンケート調査」ご協力をお願い

日ごろから、豊島区の活動にご協力とご理解をいただきありがとうございます。

令和2年度に国が全国の中学2年生や高校2年生を対象として実施した調査によると、世話をしている家族が「いる」と回答したのは、中学2年生で約17人に1人(5.7%)、高校2年生で約24人に1人(4.1%)という結果でした。また「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがない中高生は8割を超えるなど、まずは子どもに対する「ヤングケアラー」についての認識を広めるとともに、支援を必要としている子どもとその家族に対する具体的な支援施策のあり方を検討することが求められています。

※ヤングケアラーについては裏面をご覧ください。

その取り組みの一環として、この度、区立小学校4年生～6年生の児童および区立中学校全生徒と、区内在住の高校生世代(15歳以上から18歳未満まで)を対象に、学校や家庭での生活の中で抱える悩みや困りごとなどをお聞かせいただき、その解決に必要な支援策を検討するために「日常の生活実態に関するアンケート調査」を実施いたします。

ご家庭のご事情によっては、介護や看病が必要な家族を抱えながら、あるいは保護者ご自身が病気や障がいを抱えながら子育てをしている方もいらっしゃるかと思います。それは簡単なことではなく、どうしても子どもにお世話を手伝ってもらうことが出てくるかもしれません。そのような時に、保護者や子どもたちが困難を抱え込まずに済むよう、どのような支援が可能かを検討していきたいと考えており、今回はそのための調査です。

調査はお子様ご自身にご回答いただきますが、無記名で行います。ご回答いただかなくても皆さまに不利益はございません。答えにくい質問はお答えいただかなくても構いません。無理のない範囲でお答えいただくようお願いしております。ご回答内容はすべて統計的に処理しますので、お子様のご回答が特定されたり、外部に知られたりすることはありません。(なお、集計の都合上、一度ご回答いただいた内容を修正したり、消したりすることはできません)。ご回答いただいた内容は、厳重に保管し、本調査研究や関連する調査研究事業、学術研究の目的以外には使用いたしません。

調査の集計結果を含めた報告書は、個々の回答が特定できないように編集し、豊島区のホームページや関係各所などで公表いたします。

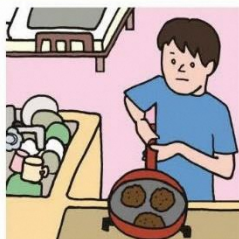
つきましては「日常の生活実態に関するアンケート調査」の内容をご確認いただき、お子様のアンケート調査のご協力にご理解をお願いします。

■ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる18歳未満の子ども」のことです。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

■調査に関するお問い合わせ先 ・ 悩みや困りごとの相談先

豊島区 子ども家庭支援センター 子どもの権利第2グループ

「豊島区ヤングケアラー実態調査」 担当 高井 ・ 綱島

電話番号 : 03-6858-2302

受付時間 : 土・日・祝日を除く、月曜日～金曜日 8:30～17:15

メール : A0019800@city.toshima.lg.jp

住所 : 〒170-0012 豊島区上池袋 2-35-22

■調査の概要

◎この調査は無記名で行い、個人が特定されることはありません。

◎本調査は、お子様ご自身にご回答いただくものです。

◎主な調査項目として、学校や家庭での生活状況、悩みや困りごと、相談相手の有無、ヤングケアラーへの必要な支援などをお聞きします。

◎本調査は、ネットでご回答いただくものであり、回答用の QR コード・URL を記載した案内文をお子様宛に同封いたしております。

◎集計結果を含めた報告書は、個々の回答データを統計的に集計処理後、個人が特定できないように編集し、豊島区のホームページや各所などで公表し、今後の豊島区ヤングケアラー支援施策に生かします。

◎ご回答時間は 10 分～15 分程度です。

◎ご回答期間は 2022 年8月15日(月)～9 月 10 日(土)です。

◎より良い支援策を検討していくためにも、できる限り多くの皆様のご協力をお願いします。

◎今回のヤングケアラー実態調査につきましては、「日本コンサルタントシステム株式会社(JCS)」に下記内容について委託しております。

委託内容:アンケートに関するの文書作成・アンケートフォームの作成・回答結果について集計・原因分析・報告書作成など

■アンケート調査の内容・詳細確認について

アンケートの内容については豊島区役所ホームページ内、子ども家庭支援センターの「ヤングケアラー実態調査を行います」の「日常生活実態に関するアンケート調査」にてご確認いただけます。

◎検索方法から

で検索をお願いします。

◎QR コードから

下記の QR コードを読み取って下さい。



◎URL から

<https://www.city.toshima.lg.jp/265/kosodate/kosodate/shiencenter/2207122034.html>